



# かどわきっ子

## 運動会を終えて

先日の運動会は、多くの方に御参観いただき、誠にありがとうございました。開会式の途中から小雨が降り、1年生の徒競走のころには、雨脚も強くなってきて、一時中断しようかと悩んだほどでした。コロナ禍以降、地区テントを設置しないようになりましたので、御参観のみなさんには御迷惑をおかけしました。誠に申し訳ございません。その後は、何とか天気も持ち直し、最後まで無事に終えることができました。

競技は、今年も接戦でした。最後の3種目を残したところで、点差は2点。どちらが勝つのだろうか、ハラハラドキドキでした。結果は、御存知のように赤組の優勝で幕を閉じました。赤組の皆さん、おめでとうございます。そして、白組の皆さん、負けはしましたが最後まで頑張り、涙をこらえながらも勝者を称える姿はすてきでした。

運動会を終えて、どのクラスもこれまでの取り組みの振り返りをしました。「緊張したけど頑張れた」「いつも勝っていたので油断したのかな」「本番で竹を取ることができてうれしかった」「負けたけど精いっぱい頑張れたのでよかった」「来年は高学年だからみんなを引っ張る」「下級生が頑張ってくれたので嬉しかった」「この頑張りをこれからの学校生活に生かしていきたい」

子どもたちの振り返りの一部ですが、思いを込めて臨んだことや充実した思いが感じられます。【みんなで意見を出し合い、よりよい学校・よりよい学級を作っていく】今年の大野木場小学校のテーマに沿って、下半期も頑張ってくれると期待しています。

児童会種目の「借り人競走」やPTA保健体育部が考案した「ドキドキ玉入れ」はいかがだったでしょうか。単純だけど、とても楽しかったのではないのでしょうか。「来年はよろしく」にも、たくさんの幼児が出場してくれました。曇り空ではありませんでしたが、保護者のみなさん、地域のみなさんと楽しい時間を過ごせて、とても晴れやかな気持ちになりました。

## ちょっとフレイク

いきなりですが、子どもの性格は変えられるでしょうか？実は、子どもの性格には「生まれ持った変わりにくい部分」と「環境次第で伸びていきやすい部分」があることが、心理学の研究で明らかになってきました。よって、答えは「Yes!」です。

「変わりにくい部分」については、またどこかの機会です…。算数オリンピックの問題制作などをした経験のある川島慶氏によると、何歳からでも成長を促せる部分として「HERO」と呼ばれる「心理的資本」があるそうです。

- ・Hope (希望) 目標に向かって努力し続ける意思、粘り強さ
- ・Efficacy (自己効力感) 自分ならできるという信念、自分への信頼感
- ・Resilience (回復力) 困難があっても立ち直る力、次への意欲
- ・Optimism (楽観性) よい結果を期待する傾向、やってみようとする力

「次はできるかも、私なら大丈夫、どうしてこうなったんだろう、挑戦してみよう!」どれも前向きな気持ち・考え方ですね。これらは、もって生まれた特性だけでなく、本人の成功体験や周りの人の声の掛け方で変わってくるそうです。

逆に言うと、環境次第では伸びにくいということ。「すぐに諦める、どうせ無理、できない、難しそう」そんなふう考える子どもには育てたくないですね。

## 奉納相撲大会

明後日12日(日)は、健全育成会主催で相撲大会が開かれます。大野木場小学校からは、昨年度の参加はありませんでしたが、今年は5年生の6人が出場します。がんばってください!

◆場 所 諏訪神社相撲場

◆開始時刻 13時30分